

2018砂糖年度における 砂糖及び異性化糖の需給見通し (第3回)

2019年3月

農林水産省

2018砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し

表－1：砂糖の需給見通し

(単位：千トン)

項 目			期 間	2017砂糖年度 (実績)	2018砂糖年度				
					10月－12月(実績)	1月－3月(実績見込み)	4月－6月(見通し)	7月－9月(見通し)	合 計
消 費 量	分 蜜 糖		1,861	495.5	426.8	482.3	475.3	1,880	
	含 蜜 糖		36	6.6	15.1	9.4	6.6	38	
	合計		1,897	502.1	441.9	491.7	481.9	1,918	
供 給 量	国 内 産 糖	分 蜜 糖	784	363.4	323.1	50.2	—	737	
		含 蜜 糖	10	0.8	9.0	1.5	—	11	
		小 計	794	364.2	332.1	51.7	—	748	
	輸 入 糖	分 蜜 糖	1,123	329.8	176.7	295.8	319.9	1,122	
		含 蜜 糖	10	1.7	4.6	3.1	0.8	10	
		小 計	1,133	331.5	181.3	298.9	320.7	1,132	
	合 計	分 蜜 糖	1,907	693.2	499.8	346.0	319.9	1,859	
		含 蜜 糖	20	2.5	13.6	4.6	0.8	22	
		小 計	1,927	695.7	513.4	350.6	320.7	1,880	
期末在庫			311	502.1	555.7	414.6	253.4	253	

- (注) 1. 分蜜糖は精糖ベースの数量、含蜜糖は製品ベースの数量である。
2. 輸入糖の分蜜糖供給量は、機構売買数量である。

表－2：加糖調製品の需給見通し

(単位：千トン)

期 間		2017砂糖年度 (実績)	2018砂糖年度				
項 目			10月－12月(実績)	1月－3月(実績見込み)	4月－6月(見通し)	7月－9月(見通し)	合 計
消費量		528	154.8	112.5	137.1	134.5	539
供給量		528	154.8	112.5	137.1	134.5	539

- (注) 1. 改正糖価調整法(2018年施行)に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。
2. 消費量は対象となる加糖調製品の輸入量(財務省貿易統計より算出)を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。
3. 2018砂糖年度の消費量は、2017砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表－3：異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

期 間		2017砂糖年度 (実績)	2018砂糖年度				
項 目			10月－12月(実績)	1月－3月(実績見込み)	4月－6月(見通し)	7月－9月(見通し)	合 計
消費量		832	182.2	187.2	244.8	222.8	837
供給量		832	182.2	187.2	244.8	222.8	837

- (注) 標準異性化糖に換算した数量である。

1 砂糖の消費量の見通し

(1) 分蜜糖消費量

分蜜糖消費量は、近年の消費動向を基に、景気は、緩やかに回復していること等を踏まえ、1,880千トン(対前年+1.0%、+19千トン)と見通す。

四半期別では、近年の四半期別消費動向を踏まえ、4-6月期を482.3千トン(対前年+1.8%、+8.6千トン)と見通す。

(2) 含蜜糖消費量

含蜜糖消費量は、近年の消費動向等を勘案し、38千トン(対前年+3.6%、+1.3千トン)と見通す。

四半期別では、近年の四半期別消費動向を踏まえ、4-6月期を9.4千トン(対前年▲9.6%、▲1.0千トン)と見通す。

2 国内産糖の供給量の見通し

(1) 国産分蜜糖供給量

てん菜については、29年産において天候に恵まれたこと等から順調に生育し、単収・糖度ともに平年を上回り、豊作となった。本年産の作付面積は前年産に比べて約930ヘクタール(1.6%)減少。作柄については、春先の天候に恵まれ初期生育は順調に推移したが、6月中旬以降は、多雨・寡照となり生育が停滞しており、全体としては平年並みの生育となっている。産糖量は615千トン(対前年▲6.4%、▲42千トン)と豊作であった昨年から減少するものと見通す。また、供給量については614千トン(精製糖換算。対前年▲6.4%、▲42千トン)と見通す。

さとうきびについては、29年産において生産量は平年並みであったものの、生育後期の台風の影響等により各地で低糖度となった。本年産の作付面積は、前年産に比べて約1,010ヘクタール(4.3%)減少。作柄については、梅雨期の降水量が少なく各地域で干ばつが発生、6月の早い時期から台風が襲来したことにより一部地域で被害が見られるものの平年並みの歩留となることを見込み、産糖量は129千トン(対前年▲3.8%、▲5千トン)と見通す。また、供給量については123千トン(精製糖換算。対前年▲3.8%、▲5千トン)と見通す。

この結果、国産分蜜糖供給量は737千トン(対前年▲6.0%、▲47千トン)と見通す。

(2) 国産含蜜糖供給量

国産含蜜糖供給量は、沖縄県及び鹿児島県南西諸島での製造状況を勘案して、11.4千トン(対前年+9.8%、+1.0千トン)と見通す。

3 輸入糖の供給量の見通し

(1) 分蜜糖輸入量

分蜜糖の輸入量は、消費量の見通し、国内産糖供給量及び在庫変動を勘案して1,122千トン(対前年▲0.1%、▲1千トン)と見通す。

(2) 含蜜糖輸入量

含蜜糖の輸入量は、近年の輸入動向等を踏まえ、10千トン(対前年同)と見通す。

4 加糖調製品の需給見通し

加糖調製品の消費量は、近年の輸入動向等を踏まえ、539千トン(+2.1%、+11千トン)と見通す。

四半期別では、近年の四半期別輸入動向を踏まえ見通す。

加糖調製品の供給量は、消費量に見合った量が供給されるものとして見通す。

5 異性化糖の需給見通し

異性化糖の消費量は、近年の消費動向等を踏まえ、837千トン(対前年+0.6%、+5千トン)と見通す。

四半期別では、近年の四半期別消費動向を踏まえ見通す。

異性化糖の供給量は、消費量に見合った量が供給されるものとして見通す。

(参考資料)

1. 砂糖及び異性化糖の需給総括表

砂糖年度		総需要量①		国内産糖生産（供給）量②					輸入量	②／①	1 人 当たり 消費量	異性化糖 需 要 量
		対前年比			てん菜糖		甘しや糖					
					白糖	原料糖						
		千トン	%	千トン	千トン	千トン	千トン	千トン	千トン	%	k g	千トン
1975	昭和50	2,877	+5.6	449	224	224	—	213	2,351	15	25.6	—
1980	55	2,614	▲10.7	765	535	535	—	223	1,548	29	22.3	432
1985	60	2,655	+0.5	870	574	574	—	285	1,779	32	21.9	617
1990	平成 2	2,643	+0.4	865	644	527	116	212	1,693	32	21.3	725
1995	7	2,435	▲1.5	842	650	491	159	183	1,606	35	19.4	733
1996	8	2,385	▲2.1	716	573	483	90	136	1,608	30	18.9	737
1997	9	2,323	▲2.6	808	643	476	166	156	1,542	35	18.4	740
1998	10	2,313	▲0.4	860	679	453	225	172	1,468	37	18.3	760
1999	11	2,300	▲0.6	800	616	482	134	175	1,487	35	18.1	763
2000	12	2,293	▲0.3	730	569	446	123	153	1,483	32	18.1	741
2001	13	2,277	▲0.7	840	663	471	192	170	1,405	37	17.9	761
2002	14	2,296	+0.8	875	721	469	252	143	1,480	38	18.0	768
2003	15	2,237	▲2.6	904	743	463	280	153	1,364	40	17.5	791
2004	16	2,229	▲0.4	912	784	477	307	121	1,272	41	17.5	796
2005	17	2,165	▲2.9	839	699	452	247	132	1,326	39	17.0	790
2006	18	2,181	+0.7	800	643	451	192	148	1,346	37	17.1	801
2007	19	2,197	+0.7	861	683	454	229	169	1,380	39	17.2	824
2008	20	2,136	▲2.8	878	683	451	232	186	1,222	41	16.7	784
2009	21	2,099	▲1.7	861	683	433	250	168	1,263	41	16.5	803
2010	22	2,095	▲0.2	655	490	424	66	156	1,431	31	16.4	806
2011	23	2,039	▲2.7	674	564	446	118	104	1,375	33	16.0	812
2012	24	2,026	▲0.6	691	561	416	145	122	1,338	34	15.9	827
2013	25	2,006	▲1.0	687	551	410	140	129	1,284	34	15.8	812
2014	26	1,971	▲1.7	737	607	410	197	122	1,220	37	15.5	792
2015	27	1,983	+0.6	813	676	423	253	129	1,235	41	15.6	818
2016	28	1,957	▲1.3	688	505	400	105	173	1,214	35	15.4	832
2017	29	1,921	▲1.8	794	656	432	224	128	1,111	41	15.2	832
2018	30(見通し)	1,942	+1.1	748	614	400	214	123	1,132	39	15.4	837

- 注：1. 砂糖年度とは、当該年の10月1日から翌年の9月30日までの期間をいう。
2. 分蜜糖は精製糖ベースの数量、含蜜糖については製品ベースの数量、異性化糖は標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。
3. 国内産糖生産量と輸入量の合計と総需要量の差は在庫変動である。
4. 国内産糖生産量の合計には含蜜糖生産量を含む。
5. 総需要量は、分蜜糖消費量、含蜜糖消費量及び工業用等の合計である。
6. 輸入量は、通関実績の数値である。

2. 国内産糖の生産動向

砂糖年度		作付面積 (ha)	ha当たり収量 (トン)	総生産量 (千トン)	分みつ糖原料率 (%)	歩留り (%)	産糖量 (千トン)
北海道産てん菜糖	2009	64,442	56.63	3,649		17.54	621 (18.5)
	2010	62,559	49.40	3,090		15.09	466
	2011	60,419	58.71	3,547		15.92	565
	2012	59,235	63.44	3,758		14.80	556
	2013	58,188	59.04	3,435		16.05	551
	2014	57,234	62.32	3,567		17.05	608
	2015	58,682	66.89	3,925		17.25	677
	2016	59,390	53.69	3,189		15.84	505
	2017	58,139	67.10	3,901		16.83	657
	2018(見込)	57,209	63.11	3,611		17.02	615

砂糖年度		収穫面積 (ha)	ha当たり収量 (トン)	総生産量 (千トン)	分みつ糖原料率 (%)	歩留り (%)	産糖量 (千トン)
鹿児島産甘しや糖	2009	10,282	61.71	634	99.24	11.87	75
	2010	10,465	61.88	648	99.11	11.77	76
	2011	10,326	44.42	459	99.03	11.33	51
	2012	9,997	43.20	432	99.07	12.09	52
	2013	9,372	54.21	508	99.00	12.03	60
	2014	10,138	46.39	470	98.88	11.18	52
	2015	10,171	49.59	504	98.91	11.94	60
	2016	10,020	63.49	636	99.05	12.19	77
	2017	9,877	53.46	528	98.84	10.73	56
	2018(見込)	9,492	48.34	459	98.72	11.43	52

砂糖年度		収穫面積 (ha)	ha当たり収量 (トン)	総生産量 (千トン)	分みつ糖原料率 (%)	歩留り (%)	産糖量 (千トン)
沖縄産甘しや糖	2009	12,747	69.01	880	92.29	12.45	101
	2010	12,761	64.29	820	92.22	11.66	88
	2011	12,289	44.02	541	92.44	11.58	58
	2012	12,996	51.97	675	91.97	12.18	76
	2013	12,535	54.47	683	92.43	11.81	75
	2014	12,736	54.06	689	92.12	11.99	76
	2015	13,212	57.12	755	91.90	10.88	75
	2016	12,938	72.44	938	92.50	12.07	105
	2017	13,809	55.67	769	90.88	11.18	78
	2018(見込)	13,184	56.44	744	90.82	11.43	77

(注)・ てん菜糖については糖業者調べ。甘しや糖については県庁調べ。

- ・ 産糖量は製品ベースの数量である。
- ・ てん菜糖の産糖量欄の()内の数値は、バイオエタノール用原料液糖の精製糖換算数量であり、産糖量の外数である。

3. 加糖調製品の輸入量の推移

(単位：千トン、%)

砂糖年度 品 目	2009		2010		2011		2012		2013		2014		2015		2016		2017		2018 (10～1)	
	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率
ココア調製品	90	4.5	87	▲ 3.7	93	6.8	88	▲ 5.0	91	2.6	98	8.2	90	▲ 7.9	108	20.0	101	▲ 7.1	38	9.5
調製した豆	73	7.1	77	6.2	75	▲ 3.4	74	▲ 0.8	71	▲ 3.5	66	▲ 7.2	64	▲ 3.2	60	▲ 6.7	60	▲ 0.2	20	▲ 0.1
コーヒー調製品	0	173.2	0	2.0	0	103.2	0	49.8	1	17.9	0	▲ 25.3	0	▲ 13.7	0	▲ 10.6	0	▲ 3.4	0	53.2
粉乳調製品	115	9.3	117	1.5	138	18.4	149	7.5	146	▲ 2.0	159	8.6	155	▲ 2.4	172	11.5	173	0.4	62	10.0
その他の調製品	176	2.2	188	6.8	193	2.7	193	0.2	198	2.4	201	1.6	200	▲ 0.7	195	▲ 2.3	192	▲ 1.8	69	4.8
合 計	454	5.2	469	3.3	499	6.4	505	1.2	506	0.3	524	3.5	509	▲ 2.9	536	5.3	526	▲ 2.0	189	6.9

資料：財務省「日本貿易統計」
注1：「その他の加糖調製品」の多くは、砂糖にソルビトール（ぶどう糖を原料とする糖アルコール）を混合した調製品である。
注2：P1の加糖調製品の需給見通しにおける実績値と数量が異なるのは、計上している加糖調製品が一部異なるためである。

４．高甘味度人工甘味料の輸入量の推移

砂糖年度 品 目	2010 (平成22)	2011 (平成23)	2012 (平成24)	2013 (平成25)	2014 (平成26)	2015 (平成27)	2016 (平成28)	2017 (平成29)	2018 (平成30)	
	1～9月	10～9月	10～9月	10～9月	10～9月	10～9月	10～9月	10～9月	10～1月	
アスパルテーム	87,860 kg	132,771 kg	155,139 kg	169,879 kg	185,112 kg	87,715 kg	71,117 kg	73,342 kg	15,014 kg	前年同期比 40.7% 甘味度 200 倍
スクラロース	34,020 kg	4,000 kg	7,850 kg	13,285 kg	15,689 kg	20,717 kg	20,585 kg	24,910 kg	5,770 kg	前年同期比 69.9% 甘味度 600 倍
アセスルファムカリウム	405,989 kg	521,266 kg	480,451 kg	544,616 kg	509,499 kg	505,462 kg	579,666 kg	495,751 kg	160,772 kg	前年同期比 114.0% 甘味度 200 倍
合 計	527,869 kg	658,037 kg	643,440 kg	727,780 kg	710,300 kg	613,894 kg	671,368 kg	594,003 kg	181,556 kg	前年同期比 97.5%
	528 t	658 t	643 t	728 t	710 t	614 t	671 t	594 t	182 t	

資料：財務省「日本貿易統計」

5. 甘味需要量の推移

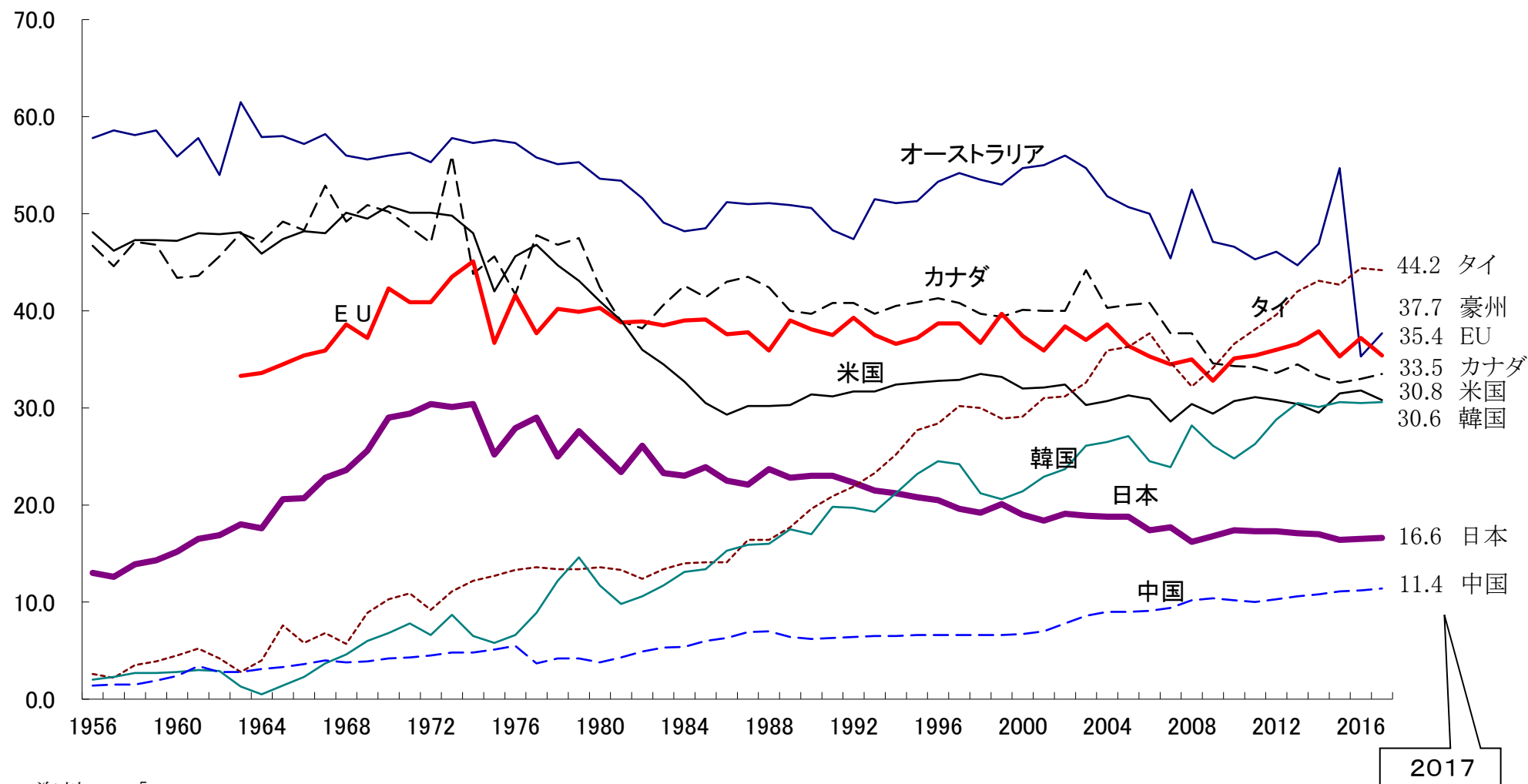
(単位:千トン、%)

砂糖年度 品 目		2005 (平成17)		2006 (平成18)		2007 (平成19)		2008 (平成20)		2009 (平成21)		2010 (平成22)		2011 (平成23)		2012 (平成24)		2013 (平成25)		2014 (平成26)		2015 (平成27)		2016 (平成28)		2017 (平成29)	
		数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率	数量	増減率
砂糖		2,165	▲ 2.9	2,181	0.7	2,197	0.7	2,136	▲ 2.8	2,099	▲ 1.7	2,095	▲ 0.2	2,039	▲ 2.7	2,026	▲ 0.6	2,006	▲ 1.0	1,971	▲ 1.7	1,983	0.6	1,957	▲ 1.3	1,921	▲ 1.8
異性化糖		790	▲ 0.8	801	1.4	824	2.9	784	▲ 4.9	803	2.4	806	0.4	812	0.7	827	1.8	812	▲ 1.8	792	▲ 2.5	818	3.3	832	1.7	832	0.0
加糖調製品 (含糖量ベース)		312	3.7	316	1.3	309	▲ 2.1	315	1.9	331	4.9	341	3.0	363	6.4	366	0.8	368	0.7	383	3.9	371	▲ 3.0	393	5.8	384	▲ 2.3
甘味全体		3,267	▲ 1.8	3,298	0.9	3,330	1.0	3,235	▲ 2.9	3,233	▲ 0.1	3,242	0.3	3,214	▲ 0.9	3,219	0.2	3,186	▲ 1.0	3,146	▲ 1.3	3,172	0.8	3,182	0.3	3,137	▲ 1.4
	一人当たり (kg)	25.6	▲ 1.5	25.8	0.8	26.1	1.2	25.4	▲ 2.7	25.4	▲ 0.1	25.4	0.0	25.2	▲ 0.8	25.3	0.4	25.1	▲ 0.9	24.8	▲ 1.1	25.0	0.8	25.1	0.4	24.8	▲ 1.2

資料：財務省「日本貿易統計」、農林水産省調べ
注：1. 異性化糖は、標準異性化糖(果糖55%ものの固形ベース)に換算したものである。
2. 加糖調製品(含糖量ベース)は、加糖調製品に含まれる砂糖の量を推計したものである。

6. 砂糖の一人当たり消費量の国際比較

kg/人・年



資料:ISO「Sugar Year Book 2018」

注1:粗糖換算した暦年ベースの数値である。

注2:工業用等に使用する砂糖を含む。

7. 粗糖の輸入実績

(単位：千トン、%)

砂糖年度 国 名	2010 (平成22)		2011 (平成23)		2012 (平成24)		2013 (平成25)		2014 (平成26)		2015 (平成27)		2016 (平成28)		2017 (平成29)		2018(10～1月) (平成30)	
	数 量	構成比	数 量	構成比	数 量	構成比	数 量	構成比	数 量	構成比	数 量	構成比	数 量	構成比	数 量	構成比	数 量	構成比
タイ	1,016	69.5	843	60.0	706	51.2	682	51.4	772	61.3	585	46.6	405	32.7	263	23.5	91	22.1
オーストラリア (粗糖)	315	21.5	381	27.1	481	34.9	447	33.7	279	22.1	127	10.1	53	4.3	44	3.9	-	-
オーストラリア (高糖度原料糖)	-	-	-	-	-	-	-	-	108	8.6	542	43.2	753	60.8	766	68.3	321	77.9
南アフリカ	5	0.3	30	2.1	30	2.2	136	10.2	15	1.2	-	-	-	-	27	2.4	-	-
ブラジル	101	6.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
グアテマラ	25	1.7	37	2.6	60	4.4	-	-	85	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-
フィリピン	-	-	115	8.2	100	7.3	63	4.7	-	-	-	-	27	2.2	21	1.9	-	-
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	1,461	100.0	1,406	100.0	1,377	100.0	1,328	100.0	1,259	100.0	1,255	100.0	1,237	100.0	1,122	100.0	412	100.0

資料：財務省「日本貿易統計」

注： 1. 甘しや粗糖（税番1701.11-190、平成24年1月からは1701.14-110）、てん菜粗糖（1701.12-100）及び高糖度原料糖（1701.14-200（豪州））の輸入数量である。

2. 四捨五入により計と内訳は必ずしも一致しない。

3. 「0」は単位未満である。

８．砂糖の国際需給

(単位：千トン、%)

年 度 (10月～9月)	生 産 量		輸入量	輸出量	消 費 量		期末在庫量		在庫率 (期末在庫/消費量)
		対前年増減率				対前年増減率		対前年増減率	
09／10	158,456	4.5	62,634	62,641	162,341	0.3	56,146	▲ 6.5	34.6
10／11	165,185	4.2	59,931	61,167	162,628	0.2	57,467	2.4	35.3
11／12	174,354	5.6	60,769	60,374	168,070	3.3	64,147	11.6	38.2
12／13	184,174	5.6	64,657	66,791	171,744	2.2	74,443	16.1	43.3
13／14	181,515	▲ 1.4	63,815	64,682	176,081	2.5	79,010	6.1	44.9
14／15	180,730	▲ 0.4	64,556	65,095	178,664	1.5	80,537	1.9	45.1
15／16	174,062	▲ 3.7	71,610	75,006	179,968	0.7	71,235	▲ 11.6	39.6
16／17	179,497	3.1	70,121	72,165	180,478	0.3	68,210	▲ 4.2	37.8
17／18	193,258	7.7	69,780	71,756	183,745	1.8	75,747	11.1	41.2
18／19 (予想)	184,969	▲ 4.3	69,080	69,473	186,279	1.4	74,044	▲ 2.2	39.7

- (注) 1. (独) 農畜産業振興機構 調べ
 2. 数量は粗糖ベースの数値である。
 3. 新しい需給数値の発表がある度に過去の数値は修正される。

9. 国際糖価の推移

(1) 粗糖現物価格 (単位：セント/ポンド)

年 月	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)
1	28.94	36.11	25.48	20.09	16.78	15.92	15.41	22.39	15.68	14.30
2	27.29	35.01	25.99	19.70	17.72	15.46	14.58	22.24	15.22	14.50
3	21.36	33.22	26.28	19.94	18.64	13.89	16.80	19.99	14.48	
4	19.87	29.35	24.33	19.40	18.33	13.91	16.69	18.37	13.42	
5	19.59	26.64	22.16	18.97	18.56	13.77	18.19	17.69	13.27	
6	21.24	29.75	22.89	18.92	18.51	12.95	20.93	15.68	13.63	
7	23.42	34.36	25.91	18.42	18.11	12.93	21.25	16.10	12.73	
8	25.09	33.31	23.89	18.61	17.08	11.87	21.80	15.88	12.07	
9	31.19	31.43	23.56	19.03	15.87	12.70	23.40	16.20	12.73	
10	35.27	29.79	23.51	20.14	17.20	14.99	24.62	16.02	14.72	
11	35.44	27.94	21.91	19.05	16.76	15.90	22.62	16.79	14.49	
12	36.10	25.92	21.31	17.66	15.82	16.03	20.74	16.24	14.20	
平均	27.07	31.07	23.94	19.16	17.45	14.19	19.75	17.80	13.89	(14.40)

(注) H23.6までは、ニューヨーク取引所（インターコンチネンタル・エクスチェンジ）公表の粗糖現物価格、H25.1までは東京穀物商品取引所調査の粗糖現物価格の月平均額、H25.2以降は、東京商品取引所調査の粗糖現物価格の月平均額である。

(2) 日本円に換算した価格 (単位：円/kg)

年 月	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)
1	59	67	44	40	39	42	41	57	39	35
2	55	64	46	41	40	41	37	56	37	36
3	43	61	48	42	42	37	42	50	34	
4	41	55	44	42	42	37	41	45	32	
5	40	48	39	43	42	37	44	44	32	
6	43	53	41	41	42	36	49	39	33	
7	46	61	46	41	41	35	49	40	32	
8	48	57	42	41	39	33	49	39	30	
9	59	54	41	42	38	34	53	40	32	
10	64	51	41	44	41	40	57	40	37	
11	65	48	40	42	43	43	54	40	37	
12	67	45	40	41	42	43	53	41	35	
平均	53	55	43	42	41	38	47	44	34	(36)

(注) 「(1) 粗糖現物価格」を日別円換算したものの月平均額である。

10. 国内糖価の推移

(1) 卸売価格の推移

(単位：円/kg)

年 月	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)
1	175	190	190	183	186	186	184	193	190	188
2	175	190	186	183	186	186	186	193	190	188
3	177	190	186	183	186	186	188	196	190	
4	183	190	186	183	186	186	188	196	190	
5	183	190	186	183	186	186	188	196	190	
6	183	190	186	183	186	186	188	196	190	
7	177	190	184	183	186	186	188	192	189	
8	177	186	183	183	186	186	188	190	188	
9	177	186	183	183	186	186	188	190	188	
10	183	187	183	183	186	184	189	190	188	
11	183	191	183	183	186	184	193	190	188	
12	184	191	183	186	186	184	193	190	188	
平均	180	189	185	183	186	186	188	193	189	(188)

(注) 1. 日本経済新聞の市中相場（東京、上白、大袋30kg入り）の月平均価格（消費税抜き）である。

(2) 小売価格の推移

(単位：円/kg)

年 月	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)
1	204	215	214	203	199	202	198	199	198	195
2	209	218	209	205	201	207	199	197	199	201
3	205	214	210	206	196	203	198	200	199	
4	205	210	209	205	208	202	200	201	199	
5	210	211	209	209	206	200	199	202	199	
6	212	212	206	206	204	201	200	202	199	
7	213	209	208	205	205	200	200	199	199	
8	215	215	206	203	204	197	198	200	200	
9	213	216	206	206	201	198	201	200	202	
10	216	213	207	206	205	197	201	200	201	
11	215	214	205	201	202	199	198	197	198	
12	213	214	203	197	203	197	195	194	195	
平均	211	213	208	204	203	200	199	199	199	(198)

(注) 1. 総務省統計局発表の東京都区部の小売価格（上白、1kg入り）である。

11. 砂糖の用途別消費動向

(単位:千トン、%)

会計年度	2007 (H19)		2012 (H24)		2013 (H25)		2014 (H26)		2015 (H27)		2016 (H28)		2017 (H29)	
用途	消費量	構成比	消費量	構成比	消費量	構成比	消費量	構成比	消費量	構成比	消費量	構成比	消費量	構成比
菓 子 類	541	24.6	487	24.1	493	24.1	496	24.7	502	25.2	505	25.6	507	26.2
清 涼 飲 料	392	17.8	351	17.4	352	17.2	342	17.1	345	17.3	350	17.8	350	18.1
家 庭 用	288	13.1	248	12.3	235	11.5	236	11.8	220	11.1	213	10.8	209	10.8
パ ン 類	212	9.6	209	10.4	207	10.1	208	10.3	208	10.4	207	10.5	209	10.8
小 口 業 務 用	198	9.0	196	9.7	213	10.4	184	9.2	199	10.0	194	9.8	179	9.2
漬物・佃煮・ねり製品等	129	5.9	117	5.8	115	5.6	112	5.6	110	5.5	109	5.5	105	5.4
調 味 料	92	4.2	95	4.7	97	4.7	97	4.8	97	4.9	97	4.9	98	5.1
乳 製 品	130	5.9	129	6.4	120	5.9	114	5.7	104	5.2	95	4.8	90	4.6
缶 詰 ・ ジ ャ ム 等	56	2.6	51	2.5	50	2.4	50	2.5	49	2.5	49	2.5	49	2.5
酒 類	34	1.6	36	1.8	36	1.8	38	1.9	39	2.0	39	2.0	39	2.0
冷 菓	32	1.5	32	1.6	32	1.5	31	1.5	30	1.5	31	1.6	32	1.6
冷 凍 食 品	17	0.8	17	0.9	17	0.9	18	0.9	18	0.9	18	0.9	19	1.0
医 薬 品	15	0.7	14	0.7	13	0.6	13	0.6	12	0.6	12	0.6	12	0.6
そ の 他	66	3.0	35	1.8	66	3.2	68	3.4	58	2.9	53	2.7	41	2.1
合 計	2,202	100.0	2,017	100.0	2,045	100.0	2,006	100.0	1,991	100.0	1,971	100.0	1,939	100.0

(注1)精糖工業会資料による。

(注2)精糖工業会資料において、各項目の流通量及び含糖率を再調査し、新たな数値に基づき遡及修正したため、「平成30砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し(第2回)」で示した数値と異なっている。

12. 異性化糖の生産量等の推移

(1) 生産量の推移

(2) 製品の用途別販売数量

(単位:千トン)

(単位:千トン、%)

砂糖 年度	固形物 換算数量	標準異性化 糖換算数量	(参考)製品 ベース数量
2004	822	796	1,162
2005	814	790	1,151
2006	822	801	1,160
2007	850	824	1,193
2008	816	784	1,142
2009	822	803	1,153
2010	844	806	1,182
2011	843	812	1,179
2012	862	827	1,203
2013	847	812	1,183
2014	840	792	1,171
2015	852	818	1,204
2016	883	832	1,232
2017	883	832	1,227

砂糖年度 用途	2009(H21)		2010(H22)		2011(H23)		2012(H24)		2013(H25)		2014(H26)		2015(H27)		2016(H28)		2017(H29)	
	販売量	比率	販売量	比率	販売量	比率	販売量	比率	販売量	比率	販売量	比率	販売量	比率	販売量	比率	販売量	比率
清涼飲料	550	47.4	557	47.5	564	47.7	597	49.6	580	49.0	581	49.6	603	50.0	628	51.1	638	52.0
乳性飲料	105	9.0	96	8.2	93	7.9	95	7.9	91	7.7	92	7.9	99	8.2	103	8.4	97	7.9
調味料	90	7.8	96	8.2	96	8.1	96	8.0	92	7.8	90	7.7	94	7.8	104	8.4	105	8.6
酒 類	96	8.2	95	8.1	95	8.0	94	7.9	91	7.7	90	7.7	90	7.5	101	8.2	108	8.8
パン類	62	5.4	66	5.6	66	5.6	67	5.6	66	5.6	63	5.4	64	5.3	65	5.3	63	5.2
菓子類	27	2.3	29	2.5	27	2.3	27	2.2	27	2.3	26	2.2	29	2.4	29	2.4	28	2.3
冷 菓	30	2.6	31	2.6	33	2.8	31	2.6	28	2.3	23	2.0	23	1.9	25	2.0	25	2.1
漬 物	25	2.2	25	2.1	24	2.0	23	1.9	24	2.0	24	2.0	23	1.9	23	1.9	22	1.8
缶詰類	10	0.9	9	0.8	9	0.8	8	0.7	9	0.7	8	0.7	7	0.6	7	0.5	7	0.5
乳製品	9	0.8	9	0.8	8	0.7	7	0.6	8	0.7	8	0.7	8	0.7	7	0.6	8	0.6
医 薬	9	0.7	7	0.6	6	0.5	5	0.4	5	0.4	4	0.3	4	0.3	4	0.4	2	0.1
その他	148	12.7	154	13.1	161	13.6	152	12.6	162	13.7	162	13.8	162	13.4	133	10.8	123	10.0
合 計	1,160	100	1,174	100	1,181	100	1,202	100	1,182	100	1,171	100	1,206	100	1,229	100	1,228	100

(注) 1. 農林水産省調べ。
2. 標準異性化糖とは、果糖分55%換算の固形ベースをいう。
3. 製品ベースには、水分、砂糖等が含まれる。

(注) 1. 用途のその他には、ジャム、佃煮、練り製品、飼料などが含まれる。
2. ラウンドの関係で、内訳と合計が一致しない場合がある。
資料:農林水産省調べ。

(3) 異性化糖の価格の推移

(単位:円/kg)

年 月	2011 (H23)		2012 (H24)		2013 (H25)		2014 (H26)		2015 (H27)		2016 (H28)		2017 (H29)		2018 (H30)		2019 (H31)	
	果糖分 42%	果糖分 55%	果糖分 42%	果糖分 55%	果糖分 42%	果糖分 55%	果糖分 42%	果糖分 55%	果糖分 42%	果糖分 55%	果糖分 42%	果糖分 55%	果糖分 42%	果糖分 55%	果糖分 42%	果糖分 55%	果糖分 42%	果糖分 55%
1	114.0	120.0	132.5	138.5	139.5	145.5	136.5	142.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5
2	120.5	126.5	132.5	138.5	139.5	145.5	134.5	140.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5
3	124.0	130.0	132.5	138.5	139.5	145.5	134.5	140.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5		
4	124.0	130.0	132.5	138.5	139.5	145.5	134.5	140.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5		
5	124.0	130.0	132.5	138.5	139.5	145.5	134.5	140.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5		
6	124.0	130.0	132.5	138.5	139.5	145.5	134.5	140.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5		
7	132.5	138.5	132.5	138.5	139.5	145.5	134.5	140.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5		
8	132.5	138.5	132.5	138.5	139.5	145.5	134.5	140.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5		
9	132.5	138.5	132.5	138.5	139.5	145.5	134.5	140.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5		
10	132.5	138.5	132.5	138.5	139.5	145.5	134.5	140.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5		
11	132.5	138.5	139.5	145.5	136.5	142.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5		
12	132.5	138.5	139.5	145.5	136.5	142.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5		
平均	127.1	133.1	133.7	139.7	139.0	145.0	134.2	140.2	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	131.5	137.5	(131.5)	(137.5)

(注) 日本経済新聞による東京月央価格。

砂糖の国別需給予想(2018砂糖年度)

(単位:千トン)

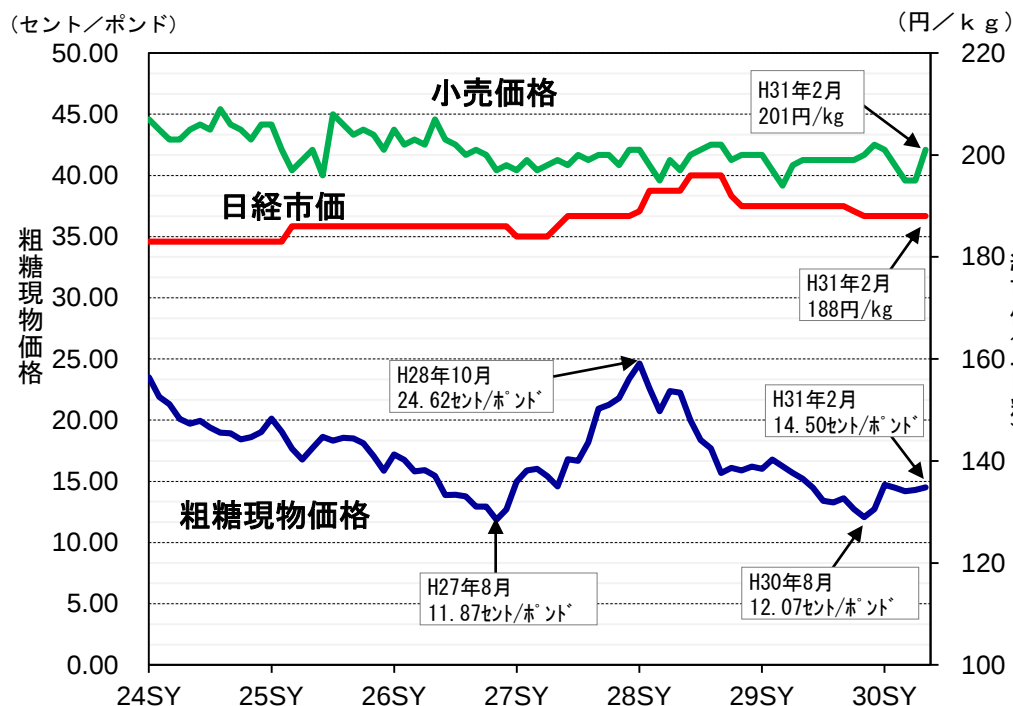
順位	生産		輸出		輸入	
	国	数量	国	数量	国	数量
	シェア	前年比	シェア	前年比	シェア	前年比
1	インド	32,609	ブラジル	18,226	中国	5,700
	17.6%	▲ 2,686	26.2%	▲ 5,002	8.3%	+ 200
2	ブラジル	30,856	タイ	12,143	インドネシア	4,694
	16.7%	▲ 1,796	17.5%	+ 2,397	6.8%	▲ 321
3	タイ	14,500	インド	5,000	アメリカ合衆国	2,800
	7.8%	▲ 527	7.2%	+ 2,774	4.1%	▲ 234
4	中国	11,550	オーストラリア	3,800	バングラデシュ	2,500
	6.2%	+ 343	5.5%	+ 262	3.6%	+ 150
5	アメリカ合衆国	8,111	フランス	3,000	アルジェリア	2,445
	4.4%	▲ 316	4.3%	▲ 687	3.5%	+ 93
6	パキスタン	6,635	グアテマラ	2,014	アラブ首長国連邦	2,300
	3.6%	▲ 537	2.9%	▲ 67	3.3%	▲ 106
7	メキシコ	6,350	アラブ首長国連邦	2,000	マレーシア	1,961
	3.4%	+ 195	2.9%	▲ 75	2.8%	▲ 98

順位	生産		輸出		輸入	
	国	数量	国	数量	国	数量
	シェア	前年比	シェア	前年比	シェア	前年比
8	ロシア	6,318	ドイツ	1,832	韓国	1,884
	3.4%	▲ 711	2.6%	▲ 205	2.7%	▲ 37
9	フランス	4,960	メキシコ	1,530	ナイジェリア	1,769
	2.7%	▲ 841	2.2%	+ 355	2.6%	+ 23
10	オーストラリア	4,926	ベルギー	1,500	イタリア	1,739
	2.7%	+ 108	2.2%	▲ 1	2.5%	▲ 47
参考 1	世界計	184,969	世界計	69,473	世界計	69,080
	100.0%	▲ 8,289	100.0%	▲ 2,283	100.0%	▲ 700
参考 2	日本	840	日本	2	日本	1,250
	0.5%	+ 9	0.0%	± 0	1.8%	+ 100

- 注) 1. (独)農畜産業振興機構 調べ
2. 2018砂糖年度(2018年10月～2019年9月)における予想数値に基づく上位10カ国。
3. 数量は粗糖ベースの数値である。
4. 新しい需給数値の発表がある度に過去の数値は修正される。

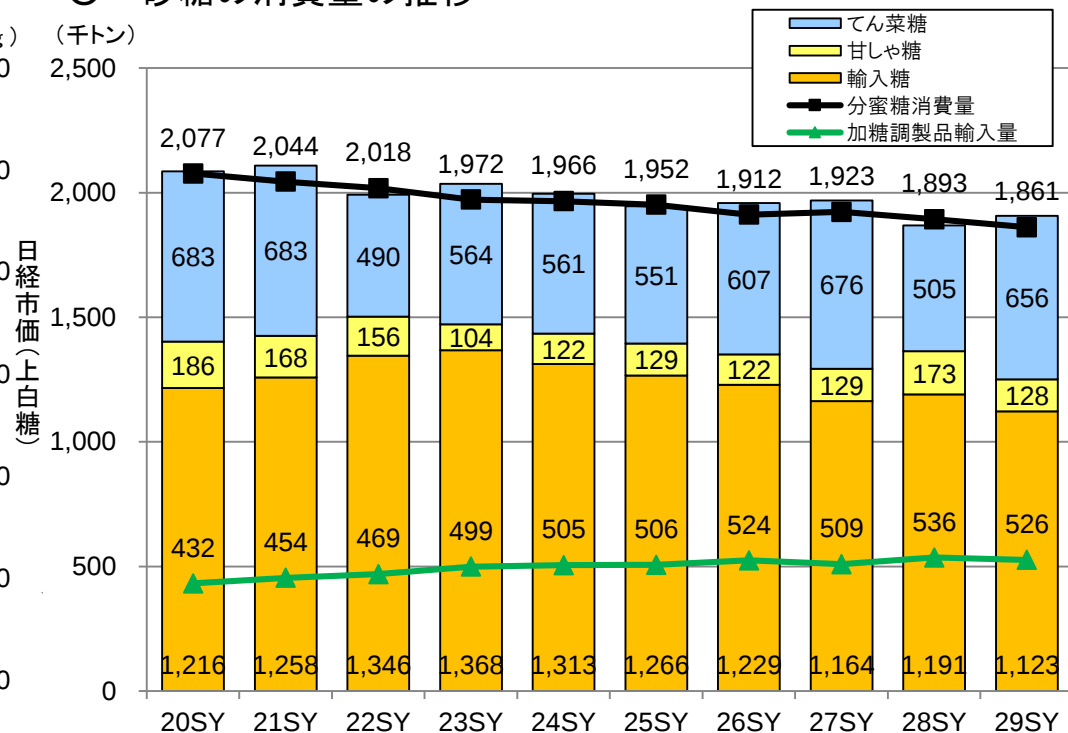
- 砂糖の国際相場は、世界的な供給過剰感から平成30年8月には12.07セント/ポンドまで下落したが、主要生産国であるインドやタイの生産予測、ブラジルのバイオエタノール政策の動向、世界各地の異常気象の影響等により、平成31年2月は14.50セント/ポンドとなった。
- 日経市価（砂糖卸売価格）は、粗糖の相場を反映して、平成30年7月に1年ぶりに189円/kgに値を下げ、平成31年2月現在は188円/kgとなった。
- 砂糖消費は、消費者の低甘味嗜好や加糖調製品の輸入増から近年減少傾向で推移している。

○ 砂糖の相場の推移



注1：小売価格は、総務省統計局調べ。
 注2：日経市価は、日本経済新聞の市中相場（東京、上白、30kg大袋入り）の価格（消費税抜き）で、各月の平均値。
 注3：粗糖現物価格は、H23.6まではニューヨーク・インターコンチネンタル取引所公表の粗糖現物価格（月平均価格）、H23.7月以降は東京穀物商品取引所調査の粗糖現物価格（月平均価格）、H25.2月以降は東京商品取引所調査の粗糖現物価格（月平均価格）

○ 砂糖の消費量の推移



資料：農林水産省「砂糖及び異性化糖の需給見通し」